

# 学校行事参加型+講演会型（小学校）

学校名等	大垣市立川並小学校
実施日時	令和元年10月5日（土）
会場	大垣市立川並小学校 体育館
参加人数	全校児童（168名）・保護者（60名）
学習課題（分野）	親子でお金の大切さを考え・理解を深める（金銭教育）
運営者の願い	親子で一緒にお金について考え、お金の大切さを知り、理解してもらえらるセミナーにしたい。

## 学習の内容

### <劇場型講演>

劇を交えた講演を聞き、「お金の成り立ちや仕組み」「毎月の生活にかかるお金」について学習した。

#### 【お金の成り立ち】

- ・お金はもともと「モノ」だった。
- ・貝・塩・米などお金に関する漢字には「貝」という文字がついている。

#### 【生活にかかるお金】（プリントを用いて学習。生活費35万円と想定。）

- ・生活にかかるお金と題して、項目ごとに分けた1か月に必要金額を子どもだけで考えて書き、その金額分をプリント内のお札イラストを○で囲って記載した。

#### 【電子マネーについて】

- ・「カードのお金は無限に使えるの？」という質問に対し、「はい」と答えた子どもが低学年では1/3程度・高学年では数名いた。
- ・子どもたちにも身近に感じるようになった「電子マネー」。使い次第では、とても危険であることをわかりやすく説明していただいた。

### <子ども達の感想>

- ・生活にかかるお金が多く、手元に残ったお金が自分たちの考えていたよりも少ないことに驚いた。自分の欲しいものは我慢しようと思った。
- ・生活費が35万円もあるのだから、もっと自分たちのお小遣いを増やしてほしいと思っていたが、毎月必要なお金がこんなにたくさんかかるのは知らなかったから、これからは大事に使おうと思った。
- ・お父さんとお母さんが頑張ってくれたお金なので、大切にしようと思った。
- ・ゲームソフトは安いと思っていた。それに比べて生活にかかるお金のほうが高かったから、これからは、自分のお年玉やおこづかいで買おうと思った。

### <保護者の感想>

- ・「お金の大切さ」は、今まで子どもに伝えてきたけれど、お給料の詳細（税金など）については触れたことはありませんでした。その点についても、子どもたちは関心があったようなので、自分だけで理解していてもダメなんだな、と感じました。子どもにしっかり説明できるお金の使い方を考えたいと思います。
- ・普段、お金について親子で話す機会がないので参加してよかったです。また、今後の生活費について見直す良いきっかけとなりました。
- ・親子でお金について学ぶ機会があってとても良かった。生活にかかるお金の内訳について、なかなか詳しく親子で話す機会が無かったので、子どもがあまりわかっていなかったと知りました。今日いただいた「おこづかい帳」を使って、子どもと一緒にお金の使い方を勉強していきたいと思いました。

### <取組の成果>

- ・親子でお金について話し合う機会ができ、子どものお金への関心が深まった。
- ・電子マネー等、キャッシュレス化社会となりつつある今、便利になる反面、無限に使える等、危険を伴う側面もあると十分理解し、今一度親子で、「お金」について考え直さなければいけないことに気付けた。



親子で考える機会を作る！

「お金は大切」だという親にとっては当たり前のことも、子どもたちは「なぜ?」「どうして?」と思う。お金については、どの家庭でも考えることだが、話し合うことは少ない。キャッシュレス化社会が進む今だからこそ、親子でお金について話し合う機会・時間が必要と感じ、このセミナーを企画した。



## おこづかい帳

- ・子どもたちが健全な金銭感覚を身につけるうえで、おこづかいの使い方について記録することは役立つ。
- ・「できるだけ多くの金額を貯蓄する」ことよりも、夢や目標に向かってお金の面でもコツコツと計画的に工夫や努力をしたり、必要なものをよく考えて買う習慣をつけるたりすることが大切であるため、おこづかい帳を活用できる。



※【おこづかいきろく】

知るばると

金融広報中央委員会 2016.3